

日本語学習における視写の効果

中 島 由 季 子

1. はじめに

日本語の学習者が日本語を学ぶとき、どのような学習方法に効果があるのか、また、どうすれば効率よく学ぶことができるのかという問いは、多くの日本語教師にとって大きなテーマである。もちろん、全ての学習者に同じ方法による同じような効果を期待できるものではない。学習者の中には、日本語の文章を読むことを楽しいと感じる人もいれば、文ではなく漢字に興味があるという人もいる。また、今学んだばかりの文型を自分の身近な話題に引き寄せてすぐに使うことができたり、新しい言葉を学ぶと瞬時に関連用語と結び付けて覚えることができたりする人がいる一方で、地道に一語ずつ覚える努力をする人も、会話の中から学習していくのが得意な人も、発音のきれいな人も、あいづちが素晴らしい聞き上手もいて、それぞれ得意分野も学習方法も様々である。しかし、文を書くのが得意だと答える学習者にはなかなか出会うことができない。日本語を話すことが好きで表現豊かな学習者であっても、文や文章を書く課題には難易度の高さを感じるようである。文や文章を書く力は、日本語の総合力が必要とされるためであろう。文の内容はもちろん、語彙がどれだけ豊富で的確な言葉を使うことができるか、文型の使い方や正しい文法に則って文を書くことができているか、などハードルはいくつもあるからである。

ところで、日本語学習者と接していると、必要事項をノートに書く時間に差があることに気づく。ただ板書されたことをノートに書き写すだけでも、素早い学習者と、何度もホワイトボードを見上げなければならない学習者がいる。日本語教師の多くが、学習者の日本語の力とノートをとる速さには、ある程度の関係があることを感じているのではないだろうか。初めて書く漢字は書くのに時間がかかるのは当然のことであるし、知らない言葉やわからない文を写すのは、少しずつしか進めることができないからだと察する。

では、自分が書きたいことを自由に書くには日本語の力が足りなかったとしても、すでに書かれている日本語の文を書き写すことを繰り返したら、学習者に、何らかの力をつけることはできないだろうか。自分にとっては慣れていない言葉であったとしても、書いているうちに、日本語そのものに慣れていき、例えば、書く速さが増すということはないだろうか。書く速さが増すことで書くこと自体に負担がなくなり、日頃から書くようになり、そのことが自分の作文に反映されることにはならないだろうか。そのように考えて、日頃から少しず

つ日本語の文や文章を書くことに慣れるということを課題にし、課題をこなしていくことで、日本語学習にも影響することがないか、調べてみることにした。

2. 先行研究

文部科学省の海外子女教育、帰国・外国人児童生徒教育等に関するホームページ⁽¹⁾に「視写」について書かれている。

このページによると、視写の効果は次のとおりである。

- (1) 集中力をつける。
- (2) 字が上手になる。
- (3) 文章表現の技法を覚える。
- (4) 表記のルールを覚える。
- (5) 暗誦や記憶に役立つ。

文章の上達には名文を書き写すことや繰り返し音読することが必要だということは耳にしていた。視写や音読の効果については、著作だけでなく、練習用の出版物⁽²⁾もあり、初等中等教育で取り上げられているのはもちろん、最近は大人向けのものもある。

江川（2011）は公立小学校の5年生71名を1か月にわたって調査して、視写学習が作文学習に有効であり、児童自身も有効性を感じているという結果を得た。視写により、正しい語法や自分の考えをわかりやすく伝えるための表現や段落構成の仕方を身に付けることができ、実際に自分で意見文を書くときにそれらを適用できたとしている。

また、池田（2011）は、大学の「日本語表現」の授業で履修者全員に視写を課した結果を著している。全て視写すると400字詰原稿用紙110枚ほどになる新聞の連載記事を学生が課題として授業外で書いたものを個人指導した結果、学生たちが変わっていく様子が記されている。学生たちは、字を書く経験の絶対量を確保することで字を書くことが習慣となり、相手を意識する文字を書くようになり、文体の異同に気付くようになり、そして、授業内での作文の課題もこなすようになっていく。「高度な学問を教えるはずの高等教育機関で視写を行うこと」に関して批判もある中で、視写でこそ学び得ることがあると明らかにした。

江川（2017）では、大学院生を調査対象にして、10か月間視写と音読を行って検証している。視写を続けることによって効果的な文章表現や文章構成の仕方について具体的な気付きがあり、結果、文章力が高まった。対象者に対するインタビューからは、本人が視写を用いた学習方法を行うプロセスから学び、自信をつけていることも分かったとしている。また、個人の主張を読み手に分かりやすく、自由に表現する前提として、いくつかの文章様式を身に付けることが必要不可欠であり、読み手に伝わるような文章表現や形式を体得する訓練が必要であることが主張され、それは中学生や高校生、大学生にも当てはまると述べている。

ここでは、以上の研究結果が同様に日本語の学習者にも当てはめられないかと考え、調査する。

3. 調査方法

2019年度前期において、日本語の授業を担当している大学の2クラスで、学習者の協力を得て調査した。この2クラスはプレースメントテストで同一のレベルにクラス分けされ、日本語能力試験のN2相当のレベルを学習するクラスである。2クラスをAクラスとBクラスとする。

この2クラスにおいて、学習を始める前に視写を行い、学期中に授業外での視写の課題を出して、学期末に再び最初に行ったものと同じ文章の視写を行った。学期初めと学期末に行った視写の結果にどのような違いがあるかを考察する。

3.1 2クラスの概要

表1 AクラスとBクラスの概要

		Aクラス (31名)		Bクラス (29名)	
調査対象者		21名		19名	
非漢字圏出身	課題を提出しなかった学習者	【1】 グループ	8名	【1】 グループ	7名
			ベトナム 5名 ネパール 2名 ミャンマー 1名		ベトナム 5名 ネパール 2名
	課題を提出した学習者	【2】 グループ	9名	【2】 グループ	8名
			ベトナム 6名 ネパール 2名 ミャンマー 1名		ベトナム 3名 ミャンマー 2名 ネパール 2名 モンゴル 1名
漢字圏出身	課題を提出しなかった学習者	【3】 グループ	中国 3名	【3】 グループ	中国 3名
	課題を提出した学習者		中国 1名		中国 1名

2クラスを構成する学習者は、表1のとおりである。全学習者のうち、学期初めと学期末に合わせて3回の視写を行い、そのすべてを回収できた学習者のみ調査対象とする。Aクラスは31名のうち21名、Bクラスは29名のうち19名であった。

漢字圏の国を出身国とする学習者と、非漢字圏の国を出身国とする学習者では、漢字を書く速さが異なるので、グループを分けて考えることにした。また、4回の視写の課題の全てを提出した学習者と、提出しなかった学生（うちAクラスで2名、Bクラスで2名が1回のみ提出）を分け、学期初めに行った視写の結果と学期末の結果を比較した。

3.2 視写の内容と方法

視写には表2のテキストを使用した。漢字を書く力に幅があると感じていたので、全ての漢字にルビを振り、「難しい漢字はひらがなで書いてもいい」と伝えた。10分間で視写し、書けたところまでを調査対象とした。10分以内に書けた場合は、挙手してもらって時間を伝え、書き終えた時間を学習者自身で控えてもらった。

表2 視写のテキスト

	Aクラス	Bクラス
学期初めの視写	①『みんなのにほんごⅡ』第24課より「カップめん」	
学期中の課題	②『学ぼう！にほんご 中級』21～24課の各本文	
	本文を視写する	本文を再生する
学期末の視写	①『みんなのにほんごⅡ』第24課より「カップめん」	
	③『学ぼう！にほんご 中級』28課より「就活」	

①『みんなの日本語』第42課より「カップめん」⁽³⁾

学期初めに行った視写のテキストは、内容がはっきりわかり、漢字もむずかしくないもので無理なく視写するために、初級後半の読解問題から選んだ。学期末にも同じテキストでもう一度視写し、違いを見ることにした。

②『学ぼう！にほんご 中級』第21～24課の本文⁽⁴⁾

学期途中は、このクラスの主要教材である『学ぼう！にほんご 中級』から、授業で精読を終えた本文の視写を課題とした。Aクラスでは、テキストを見ながらそのまま本文を視写する課題を、Bクラスでは、言葉の羅列を見て、テキストを確認しながら文を再生する課題を出した。本文から名詞、連体詞、接続詞、動詞と形容詞の辞書形、助動詞を抜き出して並べたものを、助詞を補ったり、動詞や形容詞を活用させたりすることで文を完成させる。

文の再生の例

今年 3月 仕事 辞める 2か月 銀行 お金 借りる 物件 選ぶ



今年の3月に仕事を辞めてから2か月、銀行にお金を借り、物件を選び、

③『学ぼう！にほんご 中級』第30課の本文⁽⁵⁾

十分理解しているテキストだけではなく、まだ学習を終えておらず、漢字や言葉の面、また文法や表現の面からも難易度の高いテキストとして、後期に学習予定の課の本文を視写した。

3.3 視写の検証

まずは、視写の課題をしてきた学習者としなかった学習者の間に、書き写す速さや正確さに変化があったかを検証する。また、そのまま書き写すだけのクラスと、再生しながら文を書く練習をしたクラスとの間に差があるか検証する。

4. 調査と視写の効果の予想

池田（2011）は、「視写するとき、学生は1字ずつ逐一見て写すわけではない。」と言っている。ある程度まとまった範囲を区切り、記憶してから記憶に従って書く。日本語の母語話者であっても、この「ある程度まとまった範囲」には差があると考えられるが、日本語学習者にも同様に幅があろう。見て、記憶して、書く過程のどこかで間違いが起きる。池田（2011）は、間違いにはつぎの場合があると述べている。

- (1) 自分の文体が干渉して、見る段階で見間違える場合
- (2) 記憶が不確かな部分を、自分の文体に従って埋める場合
- (3) 自分の文体が記憶を退け、それに取って変わる場合

(1)は、自分の思い込みがあって、見ているのに見えていない状態を指す。(2)は、一文を一気に記憶して書き写そうとする場合によく起きる。(3)は、正確に見ていたはずなのに書く段階で自分の文体が思わず出現する場合をいう。これら3点において、日本語学習者の場合も、「自分の文体」を学習者のその時点での日本語力とすると、それが原因で視写の間違いが起これるのではないだろうかと考えた。また、欲張るようではあるが、例えば形容詞と名詞に「の」を入れて接続してしまう学習者が、この視写を通して何らかの気づきを得ることはないかと期待し、視写を日本語学習のクラスで課題とした。

量的な面（文字数）と質的な面（間違いの原因）を数字にすると、調査結果は次のようになることを予想した。

- (1) 視写の課題を行った学習者は視写が速くなる。
- (2) 文を再生する課題を行った学習者は、視写した文中の文法上の間違いが少なくなる。

視写を行うことで、文字を書く速さが増し、正確になることが証明できれば、日々の学習の一方法となり得る。また、作文を書くのはハードルが高いとしても、すでに完成している文章を視写することなら、大きな負担はないように思われる。例えば、新入生が日本語以外のクラスで日本語で授業を受けることに感じる負担を軽くするために、入学時の早いうちに視写を日常的に行うことを学習者に勧めるときの裏付けとなると考えた。

5. 調査結果

調査結果は本論文の最後にあげる付録の表のとおりであった。Aクラスの21名とBクラスの19名がそれぞれテキストの何文字を視写したか、また、どんな間違いがあるか、視写にかけた時間も合わせて学習者ごとに結果を示した。言葉の力が足りないためにテキストどおりに書けなかったと思われる間違いを「語彙による間違い」、文法の力が足りないために起こったと思われる間違いを「文法の間違い」とした。テキストには漢字で表記されているところをひらがな表記にしている箇所を「ひらがなで書いた漢字」とし、テキストどおりに漢字で書こうとしているが間違った漢字を書いてしまった文字を「正しくない漢字」とした。「誤字・脱字」には、行ごと飛ばしてしまった箇所も含める。それらを除いた文字数を表では「正しく書いた文字数」としている。学期初め（4月）及び学期末（7月）の視写「カップめん」と、学期末（7月）のみの視写「就活」の3つの結果を学習者ごとにそれぞれ並べている。

5.1 視写の課題を提出した学習者と提出しなかった学習者の比較

まずは、全対象者を、課題を提出しなかった学習者と提出した学習者に分けて比較した。視写した文字の間違いは多くはなくて間違いによる比較は難しく、視写した総文字数はほぼ変わらないので、両者の違いはあまりなかったように見えるが、正しく書くことができた文字数を1分あたりで比較すると、わずかではあるが、視写の課題を提出した学習者の方が文字数を増やしている。

課題を提出した学習者の方が、1分あたりの正しく書けた文字を増やしていると言えるが、次に学習者個人から詳細に見ていくことにする。

表3 視写した文字数の平均（字）

		正しく書 けた文字	語彙 による間 違い	文法 の 間違い	ひらがな で書いた 漢字	正しく ない漢 字	誤字・ 脱字	正しく書 いた字数 ／分
課題を提出しなかった学習者	4月	307.7	1.6	1.9	8.7	1.0	2.0	35.1
課題を提出しなかった学習者	7月	330.8	1.5	1.3	16.3	1.6	7.1	39.5
課題を提出した学習者	4月	311.2	1.8	1.8	13.0	1.0	14.9	34.8
課題を提出した学習者	7月	312.9	0.0	1.2	29.9	1.0	11.5	42.7

5.2 Aクラスの学期初めと学期末の比較

表1にあるAクラスの【1】グループを【A1】グループ、【2】グループを【A2】グループ、【3】グループを【A3】グループとする。

図2は【A1】グループの結果である。漢字を使う努力をしているが字数自体はあまり増やすことができなかった学習者2を除いて、学習者1から学習者8まで、どの学習者も視写

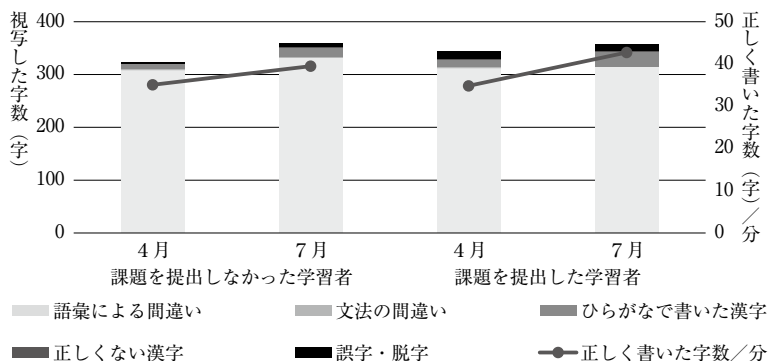


図1 視写の課題を提出した学習者と提出しなかった学習者の比較

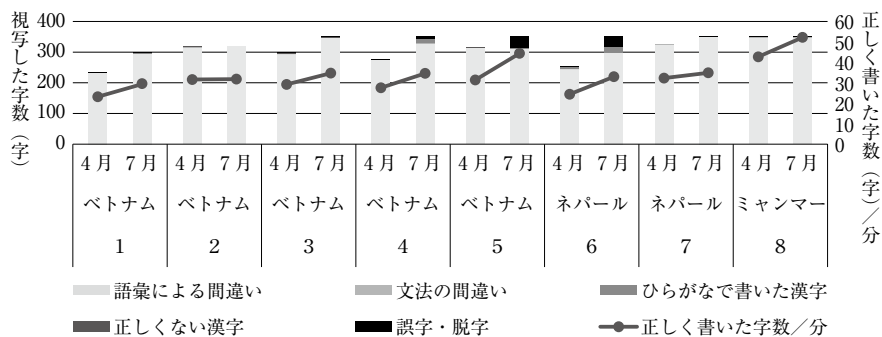


図2 【A1】グループ(視写/課題を提出しなかった学習者)の個人別視写結果(文字数)

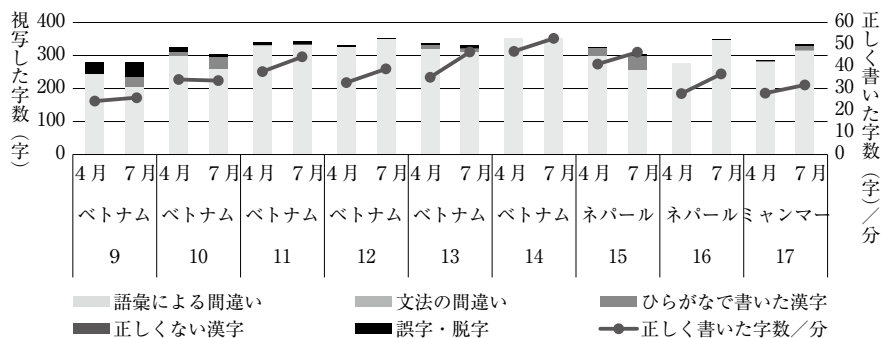


図3 【A2】グループ(視写/課題を提出した学習者)の個人別視写結果(文字数)

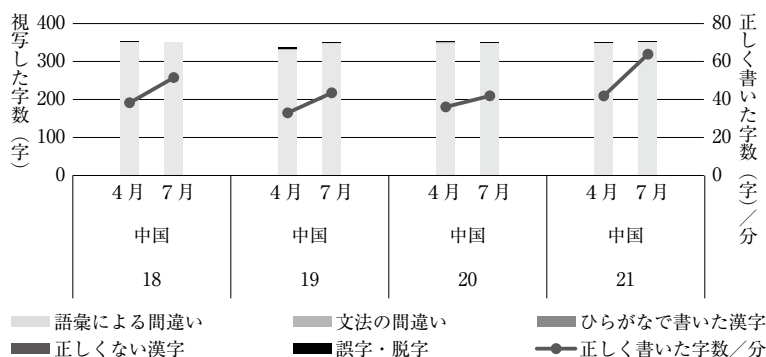


図4 【A3】グループ（視写／漢字圏の学習者）の個人別視写結果（文字数）

の文字数を増やしている。しかし、学期初めには書いていた漢字を学期末にはひらがなにしてみましたり、学習者5と6のように、行ごと飛ばしたために誤字・脱字の文字数が大きくなくなってしまっている場合もある。

図3のとおり、【A2】グループでも学習者10を除いて、視写の文字数を増やした。学習者9、10、15は、漢字で書くところを学期末でひらがなにしてしまった文字が大きく増えてしまっている。特に学習者15は、5分ほどでテキストの最後まで視写しているが、漢字の3分の1をひらがなにしている。

課題を提出しなかった【A1】グループと課題を提出した【A2】グループを比較するとき、両グループとも行を飛ばしてしまうなど、ミスによって脱字として数える文字数が多い学習者はそれぞれいるが、文法や語彙の力による間違いの数は少ないので、間違いの原因から質的な面を比較することは難しかった。

漢字圏の学習者の【A3】グループの結果は図4のとおりであった。学習者18から学習者21までの4名のうち、課題の提出があったのは学習者21だけであった。学習者21が最も1分当たりの文字数を7月で大きく増やしている。また、漢字圏の国の出身者は、漢字で書かれている文字をひらがなで書くことはほとんどなく、語彙の面からでも文法の面からでもミスはほとんどなかった。

5.3 Bクラスの学期初めと学期末の比較

表1にあるBクラスの【1】グループを【B1】グループ、【2】グループを【B2】グループ、【3】グループを【B3】グループとする。

視写を文の再生とともに行った【B1】グループでも、【A1】グループ同様、課題の提出はなくても、学習者2を除いて、視写文字数を伸ばすことができた。Aクラス同様、7月の方が漢字をひらがなで書く割合は増えてしまっているが、誤字・脱字は比較的少なかった。

図6のとおり、【B2】グループでも、学習者8から学習者15まで、どの学習者も文字数

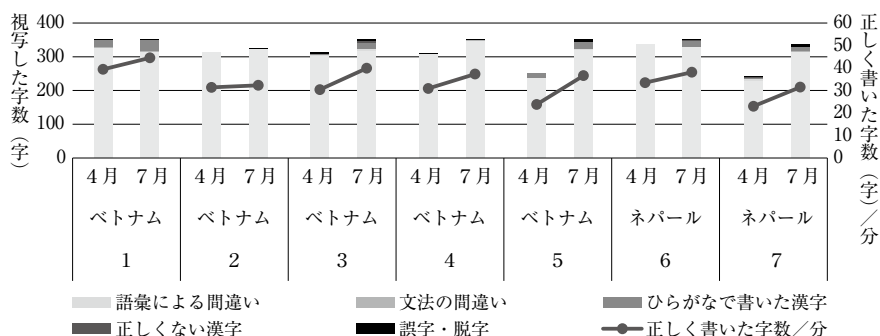


図5 【B1】グループ（再生／課題を提出しなかった学習者）の個人別視写結果（文字数）

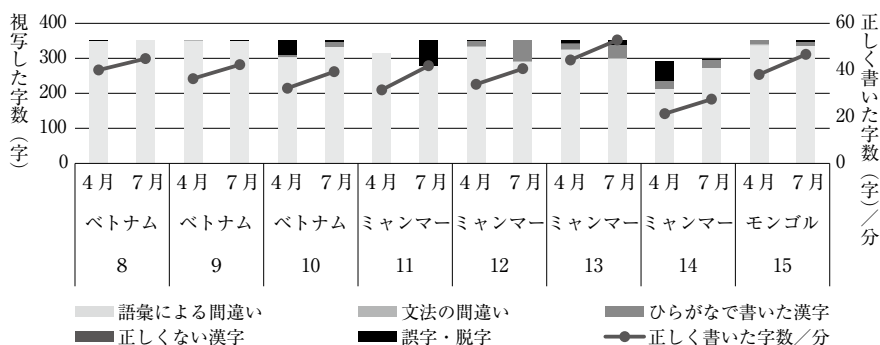


図6 【B2】グループ（再生／課題を提出した学習者）の個人別視写結果（文字数）

は7月に増やしているが、学習者12は7月には、1文字も漢字で書くことはなかった。テキストを速く書くことを優先してしまったためと考えられるが、この学習者は視写の課題を毎回丁寧に仕上げて来ていたにも関わらず、学期末での視写では、時間をはかることのストレスから漢字を避けるという結果をみることになってしまったと考える。

【A2】グループと【B2】グループの比較により、再生の課題を提出した【B2】グループの方が「文法の間違い」が少ないと言えれば、再生による視写に効果があったことになるが、「文法の間違い」は数が少なく、比較することは難しかった。

中国出身者4名の【B3】グループは、学習者17を除いて、漢字の間違いはあったものの、漢字をひらがなで書くことはほぼなく、【A3】グループと同様に1分当たりの筆記文字数を増やしている。課題の提出があったのは、7月の文字数を伸ばした学習者19のみであった。

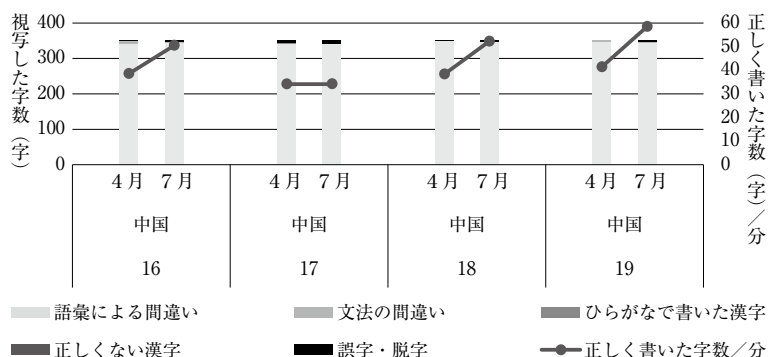


図7 【B3】グループ（漢字圏の学習者）の個人別視写結果（文字数）

5.4 難易度を上げたテキストの視写との比較

まだ、授業で扱っていないテキスト（「就活」）の視写では、2クラスのそれぞれの学習者は、どのようであったか、難易度の低いテキストの視写との比較を次のとおりグラフで示す。

【A1】、【A2】、【A3】の3グループを1分あたりの平均文字数で比較してみた。視写の課題を提出した【A2】グループの方が提出しなかった【A1】グループよりわずかであるが、文字数は多い。また、どのグループも学期初め（4月）よりも学期末（7月）の方が文字数を増やしている。ただし、学期初めの時点で【A2】グループの方が【A1】よりすでにやや多いので、課題を提出したことで視写が速くなったとは言えない。

難易度を上げたテキスト（「就活」）では、学期初めに視写したテキストよりも文字数を減らしている。学生にとって難しいテキストであると、それだけ視写するのにも時間がかかってしまっていることがわかる。書きなれている文字は当然のことながら速く書くことができる。漢字圏の国を出身国とする学習者（【A3】グループ）が、最も多くの文字数をほぼテキストどおりに視写できていることからわかる。また、この【A3】グループでも難易度を上げたテキストでは文字数を減らしてしまっていることから、文字数の減る原因は、漢字表記だけではないこともわかる。新しい言葉や表現、または、はっきり理解していない内容を書く場合は、速く書くことはできないと予想される。

BクラスでもAクラスとはほぼ同様の文字数であった。文を再生しながら視写しても、単に視写するだけでも、結果に違いはなかった。また、難易度があがっても、間違いが大きく増えるわけではなく、視写できる文字数が減るという結果であった。

6. 考察

課題を提出しなかったグループでも学期末までに視写できる文字数をふやしているのは、日本語だけでなく他の科目でもノートを取り、板書を写し、文字を書く機会はいくらでもあったと思われるので、そのことが視写の速さを増している第一の理由だと考えている。関

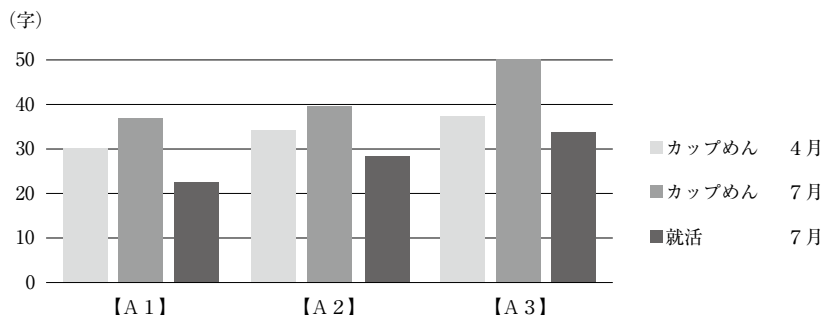


図8 Aクラス（視写）の正しく書いた文字数／1分の平均

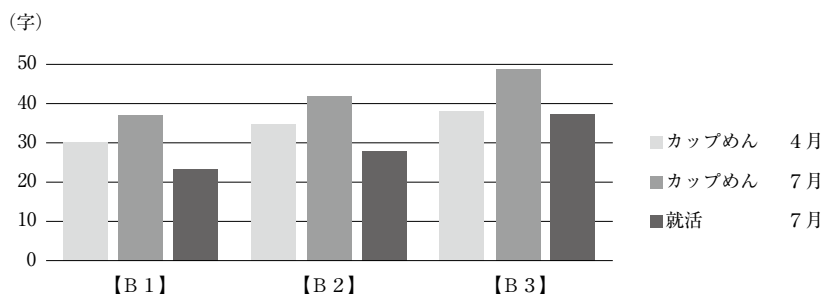


図9 Bクラス（再生）の正しく書いた文字数／1分の平均

ほか（2019）でも「書字数については学年が上がるにつれて増加するという結果が得られた」とある。

しかし、それぞれの学習者に筆記の力に成長があったとしても、調査結果のとおり、視写の速さの個人差は小さいものではない。AクラスでもBクラスでも、課題を提出しなかった【1】グループの学習者は、もともと、書くことが得意ではなかったためか、学期初めの時点ですでに【2】グループと差があった。課題は4課分のみであったし、たった3か月の調査期間で先行研究に比べると課題の量は明らかに少ないものであったが、学期末までにその差はいっそう広がり、課題を提出していたグループとの差は、平均すると1分に10文字ほどの違いとなった。単純に計算すれば、10分で100字もの差が出ることになる。日本語に慣れていない留学生が、日本語での授業の負担を軽くするためには、書くことに対する抵抗がある学習者ほど、書く機会を増やした方がいいということになる。

また、今回の調査では、視写するだけであっても文を再生しながらの視写であっても、テキストどおりに書けた文字数に差はなかった。このままこの調査を続ければ、両クラスに差が出る可能性もあるが、文を再生しながら視写をしなくても、単に視写するだけで効果が十分あるのではないかと考えている。難易度を上げたテキストでも間違いが増えなかったこと

が理由である。難易度を上げると、知らない言葉やわからない表現が増えているはずであるが、文字数が減っているのは、分からない言葉がある分、注意深く視写しているからではないだろうか。そうなると、よくわかる文章を視写するより、学習者の日本語の力よりも少し難易度の高いテキストを視写の方が、効果があるのではないかと考えている。また、簡単すぎたり、難しすぎたりすると、内容を読まず、文字だけを追っていくことになり、数行あたりに同じ言葉があったりすると、行ごと飛ばしてしまうことも起こると考えられるので、興味を持てるような内容のテキストを選ぶことも効果を大きくする条件となろう。

7. 今後の課題

今回の調査では、非漢字圏の国出身の学生が多かったことから、漢字で書くかどうかは学習者自身に任せてしまった。どのような難易度のテキストを選ぶかということは、視写の効果を左右するものでありそうだが、漢字もすべてテキストどおりに書くことも考えてテキストを選びたい。本人の裁量に任せるのではなく、全てテキストどおりで書くという条件で行ってこそ、1文字も変えず書くために注意深く書くという課題になる。

また、わずか4課ではなく、課題の量を増やしたり、期間を延ばしたりすることで、より確実な結果を得たい。後期は、漢字もテキストどおりに視写するという事で調査を続け、視写により、どのように文法や新しい言葉や漢字を身に付けることができる可能性があるのか調べたいと考えている。今回は筆記の速さしか明らかにすることができなかったが、授業中にノートをとることなどを考えると確かに速さも大切ではあるが、それだけではなく、日本語力自体も向上させることができるのか探りたいと考える。

江川（2017）に「視写を用いた学習方法は画一性やステレオタイプを生むという理由で教育現場では忌避されがちである。」とある。しかし、日本語学習者が多くの文に触れ、自分の力としていく手段の一つとして、視写は十分効果があると考ええる。ただ、読むだけでなく書くことで、目で体験して、手でも再体験できるからだ。佐藤（2017）は視写について「学生が学習習慣を構築し定着すること、学生がその取り組みを通して自分は変わることができる、変えることができるという実感（身体知）をもつことである。」と述べている。特に、書くことに苦手意識のある学習者にこそ、この方法を試してもらいたい。

江川（2019）では、「文章力を高めるためには様々な文体を習得できるようにする必要があると言える。そのためには、読み手にわかりやすく自由に表現することができる文筆家の書いた優れた文体の文章を模倣することが有効であると考えられる。」とある。日本語学習者も、書かれた日本語の文を自分で実際に書くことで、単語レベルで覚えてつなげていく日本語ではなく、文という塊で身に付け、自然な表現を覚えていけるのではないかと考える。

注

- (1) 視写の効果1 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/002/003/002/009.htm 2019年10月参照
- (2) ・吉永幸司・北村直也『国語力を高める音読と視写のシンプル授業』2017年12月 小学館
・高嶋嶮／深沢英雄『徹底反復たかし式 文章がきれいにかける視写プリント1・2年』2006年6月 小学館
・出口汪『出口汪の思わず書き写したくなる美しい日本語練習帳』2014年10月 ディスカヴァー・トゥエンティワン
・彩図社編集部『名文を写して身につく美しい文章の書き方』2012年12月 彩図社
・高橋フミアキ『名作書き写し文章術』2009年9月 コスモトゥーワン
・朝日新聞『書き写し 天声人語思い出アルバム』2012年2月 朝日新聞出版 など
- (3) 『みんなの日本語』（2017年1月 スリーエーネットワーク）から以下の文を使用した。
第42課の問題6. より読解問題の本文「カップめん」
- (4) 『学ぼう！日本語』（2017年6月 専門教育出版）から以下のとおり、各課の本文を使用した。
第21課「なんともったいないことか。」
第22課「コースを走る上で、ポイントになるのはどんなところですか。」
第23課「日本食が恋しくてならなかった。」
第24課「収入の面からいうと、OLをしていたときよりも苦しいです。」
- (5) 『学ぼう！日本語』（2017年6月 専門教育出版）から以下の本文を使用した。
第30課「何か月にもわたってあわただしく過ごすことになってしまうのです。」
ここでは、この文章を「就活」として表などにあげることとする。

引用・参考文献

- 池田久美子（2011）『視写の教育―〈からだ〉に読み書きさせる』（シリーズ『大学の授業実践』3）東信堂
- 江川克弘（2011）「作文学習における視写の有効性の検討」『教師学研究10』
- 江川克弘（2017）「視写を用いた学習方法によって文体は変容するか―「1文の長さの平均」や「読点の付け方」に着目して―」『教授学心理研究』第13巻第1号
- 江川克弘（2019）「視写による作文学習の効果の検証―大学院生を対象として事例研究を通して―」『日本教育大学協会研究年報』第37週
- 佐藤賢一（2017）「『書写プロジェクト』は学生の読み・書きの身体知を育み、かつ大学適応を診断するツールとして有効か？―初年次教育科目「フレッシュャーズセミナー」での実践と考察―」『京都産業大学総合生命科学部 高等許育フォーラム Vol.7』
- 関あゆみ・中野萌（2019）「異なる教示を用いた視写課題における書字速度と判読性の変化」『北海道大学 子ども発達臨床研究』13

付録

表4 Aクラスの視写の結果

	出身国	視写課題 実施月	正しく書いた文字	語彙による間違い	文法の間違い	ひらがなで書いた漢字	正しくない漢字	誤字・脱字	正しく書いた字数／分	時間	漢字の割合(%)
1	ベトナム	「カップめん」 4月	232					1	23.2	10分	100
		「カップめん」 7月	294			3		2	29.4	10分	96
		「就活」 7月	152					27	15.2	10分	100
2	ベトナム	「カップめん」 4月	316		1		1		31.6	10分	100
		「カップめん」 7月	318						31.8	10分	100
		「就活」 7月	177					2	17.7	10分	100
3	ベトナム	「カップめん」 4月	292	3	1		1	1	29.2	10分	100
		「カップめん」 7月	347		1		1	3	34.7	10分	100
		「就活」 7月	225	3	1		3	8	22.5	10分	100
4	ベトナム	「カップめん」 4月	276					1	27.6	10分	100
		「カップめん」 7月	329		1	14		8	34.6	9分30秒	77
		「就活」 7月	188			2			18.8	10分	97
5	ベトナム	「カップめん」 4月	314				1		31.4	10分	100
		「カップめん」 7月	311			4		37	44.4	7分	93
		「就活」 7月	274			2		1	27.4	10分	98
6	ネパール	「カップめん」 4月	244	1	1	7		1	24.4	10分	84
		「カップめん」 7月	297		1	20		34	33	9分	67
		「就活」 7月	250	1		16	1	2	25.0	10分	84
7	ネパール	「カップめん」 4月	323		1				32.3	10分	100
		「カップめん」 7月	349		1			2	34.9	10分	100
		「就活」 7月	228		1				22.8	10分	100
8	ミャンマー	「カップめん」 4月	348		2			2	42.7	8分9秒	100
		「カップめん」 7月	348		2			2	52.2	6分40秒	100
		「就活」 7月	317	1	4	1			31.7	10分	99
9	ベトナム	「カップめん」 4月	243					36	24.3	10分	100
		「カップめん」 7月	206			30		43	25.8	8分	53
		「就活」 7月	225	1		56	1		22.5	10分	43
10	ベトナム	「カップめん」 4月	300		1	10		15	34.1	8分50秒	83
		「カップめん」 7月	258			39		8	33.6	7分40秒	35
		「就活」 7月	247			33		125	24.7	10分	74
11	ベトナム	「カップめん」 4月	329		3		1	8	37.7	8分44秒	100
		「カップめん」 7月	333				1	9	44.4	7分30秒	100
		「就活」 7月	355	1			2	7	35.5	10分	100
12	ベトナム	「カップめん」 4月	327	1				4	32.7	10分	100
		「カップめん」 7月	350					1	38.9	9分	100
		「就活」 7月	263				1	1	26.3	10分	100

	出身国	視写課題 実施月	正しく書いた文字	語彙による間違い	文法の間違い	ひらがなで書いた漢字	正しくない漢字	誤字・脱字	正しく書いた字数／分	時間	漢字の割合(%)
13	ベトナム	「カップめん」 4月	322			10		5	35.1	9分10秒	83
		「カップめん」 7月	311		1	10	1	9	46.6	6分40秒	83
		「就活」 7月	336				1	3	33.6	10分	100
14	ベトナム	「カップめん」 4月	352						46.9	7分35秒	100
		「カップめん」 7月	352						52.8	6分40秒	100
		「就活」 7月	368					1	36.8	10分	100
15	ネパール	「カップめん」 4月	299	1		23	1	2	41.1	7分16秒	62
		「カップめん」 7月	256			44		4	46.5	5分30秒	27
		「就活」 7月	275			121		67	27.5	10分	27
16	ネパール	「カップめん」 4月	277						27.7	10分	100
		「カップめん」 7月	348					2	36.6	9分30秒	100
		「就活」 7月	270				1	1	27.0	10分	100
17	ミャンマー	「カップめん」 4月	279	3		1	1	2	27.9	10分	98
		「カップめん」 7月	316		1	12		5	31.6	10分	80
		「就活」 7月	215					3	21.5	10分	100
18	中国	「カップめん」 4月	351					1	38.3	9分10秒	100
		「カップめん」 7月	352						51.5	6分50秒	100
		「就活」 7月	373					46	37.3	10分	100
19	中国	「カップめん」 4月	330	1	2			4	33.0	10分	100
		「カップめん」 7月	348	1	1			2	43.5	8分	100
		「就活」 7月	309		2			163	30.9	10分	100
20	中国	「カップめん」 4月	348	1	2			1	36.1	9分40秒	100
		「カップめん」 7月	349		1			2	41.9	8分20秒	100
		「就活」 7月	295						29.5	10分	100
21	中国	「カップめん」 4月	349		1			2	41.9	8分20秒	100
		「カップめん」 7月	351					1	63.8	5分30秒	100
		「就活」 7月	377		1			1	37.7	10分	100

表5 Bクラスの視写の結果

	出身国	視写課題 実施月	正しく書いた文字	語彙による間違い	文法の間違い	ひらがなで書いた漢字	正しくない漢字	誤字・脱字	正しく書いた字数／分	時間	漢字の割合(%)
1	ベトナム	「カップめん」 4月	326	1	1	23		1	39.4	8分16秒	62
		「カップめん」 7月	314	1	1	35		1	44.5	7分3秒	42
		「就活」 7月	312	6		144		8	31.2	10分	18
2	ベトナム	「カップめん」 4月	314						31.4	10分	100
		「カップめん」 7月	323					1	32.3	10分	100
		「就活」 7月	206					2	20.6	10分	100
3	ベトナム	「カップめん」 4月	304	1	1	2		4	30.4	10分	97
		「カップめん」 7月	319	4		20	3	6	39.9	8分	67
		「就活」 7月	175	1		10		92	17.5	10分	89
4	ベトナム	「カップめん」 4月	309					1	30.9	10分	100
		「カップめん」 7月	348		1		2	1	37.3	9分20秒	100
		「就活」 7月	269					2	26.9	10分	100
5	ベトナム	「カップめん」 4月	238		1	13			23.8	10分	70
		「カップめん」 7月	322	1	1	21		7	36.6	8分48秒	65
		「就活」 7月	179			30	1	40	17.9	10分	60
6	ネパール	「カップめん」 4月	335						33.5	10分	100
		「カップめん」 7月	330			18	1	3	38.1	8分40秒	70
		「就活」 7月	266			70		2	26.6	10分	53
7	ネパール	「カップめん」 4月	230	3		6	1	2	23	10分	85
		「カップめん」 7月	315	1	1	12	1	7	31.5	10分	78
		「就活」 7月	214	2		45	1	8	21.4	10分	54
8	ベトナム	「カップめん」 4月	351					1	40	8分46秒	100
		「カップめん」 7月	352						44.9	7分50秒	100
		「就活」 7月	295						29.5	10分	100
9	ベトナム	「カップめん」 4月	351		1				36.3	9分40秒	100
		「カップめん」 7月	351					1	42.3	8分18秒	100
		「就活」 7月	279					44	27.9	10分	100
10	ベトナム	「カップめん」 4月	303	1	1	6		41	32.2	9分25秒	93
		「カップめん」 7月	334			14		4	39.3	8分30秒	77
		「就活」 7月	265			38			26.5	10分	65
11	ミャンマー	「カップめん」 4月	315						31.5	10分	100
		「カップめん」 7月	279					73	41.8	6分40秒	100
		「就活」 7月	287					1	28.7	10分	100
12	ミャンマー	「カップめん」 4月	334		1	16		1	33.9	9分50秒	73
		「カップめん」 7月	291		1	60			40.6	7分25秒	0
		「就活」 7月	257			79		1	25.7	10分	29

	出身国	視写課題 実施月	正しく書いた文字	語彙による間違い	文法の間違い	ひらがなで書いた漢字	正しくない漢字	誤字・脱字	正しく書いた字数／分	時間	漢字の割合(%)
13	ネパール	「カッブめん」 4月	325		1	17	1	8	44.3	7分20秒	72
		「カッブめん」 7月	300		2	37	1	12	52.9	5分40秒	38
		「就活」 7月	356			47	1	24	35.6	10分	64
14	ネパール	「カッブめん」 4月	213			23		56	21.3	10分	36
		「カッブめん」 7月	275			20		2	27.5	10分	42
		「就活」 7月	187			70	2	49	18.7	10分	34
15	モンゴル	「カッブめん」 4月	336	3	2	11			38.1	8分50秒	82
		「カッブめん」 7月	335		1	13		3	46.7	7分10秒	78
		「就活」 7月	300			28	4		30	10分	76
16	中国	「カッブめん」 4月	340	2	9			1	38.5	8分50秒	100
		「カッブめん」 7月	344		4			4	50.4	6分50秒	100
		「就活」 7月	367				1	26	36.7	10分	100
17	中国	「カッブめん」 4月	341	1	1	1		8	34.1	10分	99
		「カッブめん」 7月	341	1	1			9	34.1	10分	100
		「就活」 7月	318					45	31.8	10分	100
18	中国	「カッブめん」 4月	351					1	38.3	9分10秒	100
		「カッブめん」 7月	349					3	52.3	6分40秒	100
		「就活」 7月	426					2	42.6	10分	100
19	中国	「カッブめん」 4月	346	2	4				41.5	8分20秒	100
		「カッブめん」 7月	346		1			5	58.6	5分54秒	100
		「就活」 7月	382					3	38.2	10分	100